

○ 関係人口

- ・ 人口減少傾向がとどまらないことに鑑みれば、関係人口を増大させる工夫は必須という点は、みなさまの共通認識であると考えている。
- ・ 関係人口の対象として、農漁村の働き手として、あるいは、食品の物理アクセスをサポートする担い手として、大人を対象にすることはもちろんだが、子どもたちも対象にするというように視野を拡げることが重要であると思う。子どもたちにとって食育の観点でも貴重な機会になるうえ、子どもたちが来ることは大人も同行するという形での拡大も期待できるからである。
- ・ フランスの民間団体の取り組みであるが、「Les Plus beaux villages de France」という取り組みも参考になると思う。この認定を受けた村は、その入口になる場所（道路など）に看板の設置がされ、ウェブでも広く認知されるようになるが、これに認定された村を目指して様々な方々が訪れるようになっている。
<https://www.les-plus-beaux-villages-de-france.org/fr/>

○ 有機農業

- ・ エリア認定が必要という意見が出ていたが、それに加えて、有機農地に限らず「田・畑・果樹園」に対して、科学的根拠に基づく形で「特級・一級・普通」認定をすることを検討してみてはどうか（例：特級田、一級田、普通田）。
- ・ これによって、新しいエコノミクスが生じ、有機農業の取組面積についても拡大方向に働く可能性があるし、そこで生産された一次産品をより高い値段で消費者に販売する一助にもなるのではないかと考える。
- ・ 限られた予算を有効に活用するためにも、「田・畑・果樹園」を区分することに効果があるのではないか。